

富永神社祭礼奉納

と き 平成二十六年十月十日(金)
午後四時四十五分始
ところ 富永神社能楽殿

能 組

仕舞 月宮殿 伊藤紗佳
半菰 榎本奈月
西王母 恩田衣恋

仕舞 紅葉狩 鳥居久仁子
浮舟 本田洋子
道明寺 岩崎葉子

狂言 盆 山 盗人夏目幹己 茶 鈴木颯太

後見 天野雅夫

仕舞 田村 川村美幸

語り 朝比奈 大原正巳

独調 薪之段 今岡アイ子

狂言 鶏 聾 舅 佐野泰三 教手酒井淑規
姑 小澤貞博 太郎冠者山口俊一

後見 天野雅夫

シテ 櫻本泰朗

半能 養 老 ワキ 太田研司 大鼓 清水利高 太鼓 中嶋康夫
小鼓 森田收 笛 今泉英三

後見 鈴木崇史 地謡 杉浦史佳 竹内声位 高林伸二
長田共永 高林白牛口二

休憩

舞雜子 草紙洗小町

中嶋康夫 大鼓 櫻本泰朗 小鼓 小林寿枝 笛 今泉英三

狂言 棒 縛 主人 清川松佐

太郎冠者 天野雅夫 次郎冠者 山本勝

後見 大原正巳

能 羽衣

シテ 杉浦史佳

ワキ 清水利高 大鼓 河村総一郎 小鼓 永田聡子 笛 今泉英三

後見 中嶋康夫

地謡

太田研司 竹内声位 高林呻二 長田共永 高林白牛口二 櫻本泰朗 森田收

附祝言

(終了予定 九時頃)

主催 本町区

狂言 盆山

近年世間では盆山が大流行。男も所有はしているもの今ひとつ気に入った盆山がありません。また知り合いの主人は豪華な盆山をいくつも所有しているとのこと。男は一計を案じて、その知人宅の屋敷へ忍び込み、好みの盆山を無断で拝借することに……。

語り 朝比奈

この頃の人間はみんな賢くなつて、いろいろな宗教に帰依して極楽に行つてしまふ。

地獄は誰も来なくて飢餓状態。そこで閻魔大王自ら、六道の辻にやってきて娑婆から来る人間を責めて地獄へ落そうという算段。

待ち構えているところに男が来る、責めてみるが動じない。誰かと聞けば勇猛で知られる朝比奈三郎義秀だという。あきらめた閻魔大王はせっかくだから和田合戦の様子を聴かせてくれと言う……。

狂言 鶏 聒

婿入りと言うのは、中世に見られた風習で、嫁を買った男が舅のもとへ挨拶することです。正式な婿として認めてもらう儀式である。花婿が婿入りの礼儀作法を某(なにがし)にたずねると、某はからかつて鶏のまねをするよう教えたので、花婿は舅の家へ着くなりさっそく鶏の鳴く真似をする……。

半能 養老

頃は初夏、美濃国(岐阜県)本巢の郡に霊水が湧き出るといふ報告があつたので、雄略天皇の勅命を受けて、勅使が下向します。一行が養老の滝のほとり着くと、老人と若者の二人の樵夫が、来かかります。勅使は、これこそ話に聞く養老の親子であろうと思つて尋ねると、果たしてそうでした。老人は、問われるままに、養老の滝と名づけられたいわれを物語ります。ついで老人は、勅使をその滝壺に案内し、霊泉をほめ、更に他の霊水の例を挙げつつ、この薬の水の徳をたたえます。すべてを見聞いた勅使は、感涙を流し、この由を奏聞しようと帰洛しかけると、にわかに天から光がさし、花が降り、音楽が聞こえ、ただならぬ様子となります。(中入)そこへ、所の者が出て養老の滝のいわれを語り、滝の水を飲んで、若返りの様を見せます。ついで、養老の山神が出現し、清らかな水をたたえ、神仏はもとより同体であり、供に衆生を救おうとの御誓願であつて、時として神と現じ仏と現れ給うのであると述べます。そして峰の嵐や谷川の音を音楽として舞を奏し、泰平の世を祝福して、神の国へと帰つてゆきます。今回は半能として中入後の演能を致します。

狂言 ぼう
棒 しばり
縛

酒好きなた郎冠者・次郎冠者、二人の召使は主人が留守になるたびに酒蔵に忍び込んで盗み酒をする始末。このことを知りつつ今日も外出する主人は、一計を案じてまず次郎冠者を呼びだし、最近棒の手の稽古をしている太郎冠者にその型をさせ、隙を見て縄で括りつけようと提案します……。

能 は
羽衣 ごろも

春の朝、三保の松原に住む漁師・白龍（はくりよう）は、仲間と釣りに出た折に、松の枝に掛かった美しい衣を見つめます。家宝にするために持ち帰ろうとした白龍に、天女が現れて声をかけ、その羽衣を返して欲しいと頼みます。白龍は、はじめ聞きいれず返そうとしましたが、「それがないと、天に帰れない。」と悲しむ天女の姿に心を動かされ、天女の舞を見せてもらう代わりに、衣を返すことにします。

羽衣を着た天女は、月宮の様子を表す舞などを見せ、さらには春の三保の松原を絶賛しながら舞い続け、やがて彼方の富士山へ舞い上がり、霞にまぎれて消えていきました。
本曲は能の中でも人気曲の一つです。

※仕舞とは能の一部を面・装束をつけず、紋服・袴のまま素で舞うこと。能における略式上演形態の一種で、伴奏は地謡のみによって行われる。演者は最初の一句を座ったまま謡い次に立ち上がって舞い、最後に打ち込みと呼ばれる型を行って座って一曲を終える。